

札幌市視聴覚障がい者情報センターのオープンについて

平成 16 年 7 月から、中央区大通西 19 丁目に整備を進めてまいりました札幌市視聴覚障がい者情報センターが、このほど完成いたしました。

この施設は、札幌市女性センター跡施設を改修し、老朽化・狭隘化している視力障害者福祉センター（中央区北 2 条西 12 丁目）を移転・再整備するとともに、市内で初めて、聴覚障がいのある方への総合的な情報提供を行う聴覚障害者情報提供施設を設置したもので、聴覚障がい者用字幕・手話入りビデオカセットを自主制作するためのスタジオや、視覚や聴覚に障がいのある方への I T 機器の利用開放室など、情報関連事業を集積した中核施設です。

1 所在地

札幌市中央区大通西 19 丁目 1 - 358（札幌市女性センター跡施設）

2 構造

鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄筋コンクリート造）地上 2 階地下一部 1 階建て

3 面積

敷地面積：2,326.2 m²

建物延床面積：3,265.6 m²（社会福祉総合センター 1 階別館 184 m²含む）

4 施設の内容

(1) 点字図書館（蔵書数：点字図書約 21,000 冊、録音図書約 29,000 巻ほか）

点字図書室

点字図書・拡大写本製作室、印刷製版室、点字製本室

録音図書製作スタジオ（編集室、校正室）

事務室、相談室等

(2) 理療研修室（あんま・はり・きゅうの免許を持つ視覚障がい者で自立が困難な方に対し、再度技術指導を行う）

(3) 中途失明者社会適応訓練室

パソコン訓練室

点字訓練室

I T 機器利用開放室

(4) 聴覚障害者情報提供施設

聴覚障がい者用字幕（手話）入りビデオカセット自主制作スタジオ

ビデオ・情報機器利用貸出室

聴能言語訓練室

事務室等

(5) 団体事務室

(6) 共用エリア（大会議室・交流室）

5 各階の配置

階	施設内容	
2階	聴覚障害者情報提供施設事務室 聴覚障がい者用字幕（手話）入りビデオカセット 自主制作スタジオ ビデオ・情報機器利用貸出室 聴能言語訓練室 録音図書製作スタジオ等 大会議室・交流室 ・団体事務室	
1階	点字図書館 理療研修室 パソコン訓練室、点字訓練室 IT機器利用開放室等 ・団体事務室	（社会福祉総合センター1階） 点字図書・拡大写本製作室
地階	・ボイラー室等	

凡例 : 視覚障がい者福祉エリア、 : 聴覚障がい者福祉エリア、 : 共用エリア

6 施設の特徴

- (1) 市内で初めて、聴覚障がいのある方用字幕・手話入りのビデオカセットを自主制作するためのスタジオを設置したこと。
- (2) 視覚や聴覚に障がいのある方へのIT機器利用開放を行い、障がいのある方が気軽にパソコンやインターネットを体験できること。
- (3) センターおよび周辺のバリアフリーとして、地下鉄駅（東西線西18丁目駅）出口から施設までの歩道の改修やロードヒーティング化、施設内外の点字ブロックの敷設、非常警報装置（光や文字で火災情報等を知らせる表示器。平常時は一般の案内表示器としても利用できる）、磁気ループ（補聴器利用者が音を聞き取りやすくする装置）などを整備したこと。
- (4) 地下鉄駅から徒歩1分と近く、加えて地下鉄から地上までのエレベーターが設置されているので、視覚障がいのある方にとっても交通の便が良く、利用しやすい場所となっている。また、社会福祉総合センターや保健所、精神保健福祉センターなどの保健福祉施設が隣接しており、利用者の利便性が高い。

7 記念式典・供用開始

- (1) 開設記念式典および施設見学
 - 式典：平成17年5月20日（金）（午後2時～午後2時30分）
 - テープカット、市長式辞および来賓祝辞
 - 施設見学：同上（午後2時30分～午後3時30分）
- (2) 供用開始
 - 上記記念式典および施設見学終了後

【施設の事前公開】

報道機関の皆さまに対しては、5月19日（木）午後2時から施設の事前公開を予定しています。（詳細は、後日あらためてご案内します。）

問い合わせ先

保健福祉局保健福祉部障がい福祉課：電話 211-2936
札幌市視聴覚障がい者情報センター：電話 631-6747